

イベント情報

おいがみ教室

毎日を彩るカラフル小箱をつくろう

日時：9月20日(日) 午前10時～12時

場所：小竹図書館 2階会議室
講師：手づくり愛好家 黒澤麻保氏
定員：20人 (事前申込制)
対象：一般(12歳程度～以上)
申込締切日：9月10日(木)



朗読付き講座

地球を見に行こう

9月27日(日) 午後2時～3時

場所：小竹図書館 2階会議室
講師：童話作家・山口タオ氏
対象：一般(小学校高学年以上) 定員：20人(事前申込制)
申込締切日：9月17日(木)

子ども向け

はじめてのお金教室

～おこづかいを学んで貯金箱を作ろう！～

10月18日(日) 午後2時～3時半

場所：小竹図書館 2階会議室
講師：金融経済教育推進機構(J-FLEC)の方
対象：年長～小学校3年生
定員：20人(事前申込制)
申込締切日：10月8日(木)



イベント申込受付の注意事項

- ・ホームページ、小竹図書館カウンター、電話で申込みできます。
- ・申込みが定員を超えた場合は、抽選になります。
- ・抽選結果連絡日は、ホームページまたはポスターにてご確認ください。
- ・申込締切日に定員に満たなかった場合、カウンター、電話で、先着順で申込を受け付けます。

マネジメントって何だろう？

職場やチームの運営などの場面で、よく耳にする言葉「マネジメント」。マネジメントに興味はあるけどよく知らないという方も、組織運営に関わっている方も大歓迎。メンバーが力を発揮できる環境をつくり、組織やチームが成果を出すための経営学の知恵を、この機会に学んでみませんか。

日時：10月3日(土) 午後2時～4時

場所：小竹図書館 2階会議室
講師：武蔵大学経済学部 山崎秀雄教授
対象：一般(12歳程度～以上)
定員：25人(事前申込制) 申込締切日：9月23日(水・祝)



9月の小竹図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
			よみきかせ 15:30～	いきいき 体操 10:30～	あかちゃん のおはなし会 10:30～ あかちゃんタイム 11:00～	
6	7	8	9	10	11	12
	休館		よみきかせ 15:30～		ブックスタート 10:30～ 10代向け会議室 優先タイム 16:00～	傾聴ボラン ティア入門 14:00～
13	14	15	16	17	18	19
			よみきかせ 15:30～	シルバースマホ 相談会 14:00～		あかちゃん のおはなし会 10:30～
20	21	22	23	24	25	26
おいがみ 教室 10:00～			おはなし会 15:30～	休館	10代向け 会議室 優先タイム 16:00～	ブックスタート 10:30～ 認知症サポーター 養成講座 14:00～
27	28	29	30			
地球を 見に行こう 14:00～	休館		よみきかせ 15:30～			

●=一般向けイベント ★=児童向けイベント ◆=青少年向けイベント

The Kotake Library News: Stained Glass



すてんどぐらす

令和8年9月発行 第402号

練馬区立小竹図書館

〒176-0004 練馬区小竹町 2-43-1

電話 03-5995-1121

指定管理者：ハートフルサポート共同事業体

今月の1冊をご紹介します!!

あなたの身近にクラシックは溢れている!

「生活はクラシック音楽でできている」

家電や映画、結婚式まで日常になじんだ名曲

渋谷ゆう子/著 笠間書院 2024年
ISBN:978-4-305-71003-1

毎日使う家電から流れる音楽、カフェのBGMやCMソング。私たちの日常に溶け込むクラシックについて改めて学んでみませんか? 聞き慣れたあのメロディー、誰がどんな時に作った曲か知ること、日常がより豊かになるかもしれません。クラシックに興味がない人でも楽しめる一冊です。



図書館員からひとくちメモ

小竹図書館もクラシックのCDを多く所蔵しています。中には近隣の武蔵野音楽大学のウィンドアンサンブルの演奏が収録されたCD、デスクワークやドライブの時におすすめのクラシックをまとめたCDもあり、さまざまな切り口でクラシックを楽しむことができます。みなさんもぜひ借りてみてくださいね。

9月の企画展示より図書館員おすすめの本



人は夜空を眺めては、さまざまな思いを巡らせてきました。現代でもほぼ未解明な宇宙について、この機会に学んでみませんか？

展示期間:8月25日(火)~9月27日(日)

「宙わたる教室」

伊与原新／著 文藝春秋 2023年
ISBN:978-4-16-391765-8

学習障害や家庭内不和、周囲からの孤立などそれぞれの問題に苦しみつつも、都立高校の定時制に集まった5人の生徒たち。彼らは様々なきっかけを経て「科学部」として実験を開始し、「火星のクレーター」を再現しようと奮闘しますが……。



「東大研究員がゼロから考えてみた「宇宙の常識」

夜空を見上げてしまうほどワクワクする

澤田涼／著 大和出版 2026年 ISBN:978-4-8047-6476-4



「どうして太陽は光っているの？」「星が死ぬってどういうこと？」といった宇宙にまつわる疑問を東大研究員・澤田涼氏と共にとどります。私たちが知っているつもりの宇宙の常識を今一度考えなおせば、夜空を見上げるのが楽しくなるかもしれませんよ。

9月の児童展示より図書館員おすすめの本



みんなのまわりにはどんなおしごとがあるかな？
本をよんで、いろいろなおしごとをみつけてみよう！

展示期間:9月1日(火)~9月27日(日)

「みえないおしごと」

とくながけい／さく・え 中央公論新社 2025年
ISBN:978-4-12-005966-7



もしもみえないところで、わたしたちのせいかつをささえて、たすけてくれている人がいたら……。とけいのなかや、しんごうきのなかに、たのしくがんばってはたらいっているひとがいるかもしれません。この本をよんだあとは、おもわずはたらいっているひとをさがしてみたくくなりますよ。

幼児向け

「しごとたんけん図鑑」

町山太郎／監修 世界文化ワンダーグループ
2025年 ISBN:978-4-418-25834-5



みなさんの「すき！」はなんですか？ 食べもの？ のりもの？ たくさんの好きなことは、どんなしごとにつながっているのでしょうか。いろいろなしごとと場をたんけんして、そこではたらいっている人にインタビューをしたり、どうぐを見せてもらったりと、知らなかったしごとにであえる図鑑です。

低学年向け

小竹の小ばなし

～馬場のぼる氏～

絵本『11びきのねこ』でおなじみの馬場のぼる氏は、ここ小竹町で約50年間暮らししていました。当館では、絵本コーナーの一角に、『馬場のぼるコーナー』を設置し、その著作を所蔵しています。

馬場氏は現在では絵本作家として広く知られていますが、もともとは漫画家としてスタートしており、ご本人の自覚としてはむしろそちらの方が強かったそうです。



馬場氏の作風は、文字がなくても絵だけで内容が伝わるところが魅力です。人を傷つけない笑いは漫画と絵本に共通しており、そのユーモアあふれる作品は、馬場氏本人の生まれ持った才能といえるでしょう。

『11びきのねこ』の発売当時は、絵本はまだ教育向けのものが多く、出版社はPTAから苦情がくるのではとハラハラしたそうですが、本シリーズは今なお版を重ね続け、広く愛される作品となっています。

また、東京こども図書館の創設者の一人としても知られる児童文学翻訳家の松岡享子さんとは自転車で行き来できるほど近くのご近所同士で、『かえるがみえる』などの絵本を共作するなど深い交流がありました。松岡さんは、馬場氏とのこのような関係を親しみを込めて「江古田隣組」と呼んでいたそうです。

今年は没後25年、来年は生誕100周年となります。この機会に馬場のぼる氏の作品の数々を読んでみてくださいね。

図書館からのお知らせ

クーリングスポットのお知らせ

練馬区では、外出時に暑さを感じた際に一時的に休憩できるよう、一部の区立施設をクーリングスポット（涼みどころ）として開放しており、小竹図書館もその1つです。令和8年度の運用期間は10月21日（水）までです。